

一般質問

小林 裕 幸

(ふらの未来の会)

富良野市で行われる外部団体イベント支援

問 「北海道クラシックカーミーティング」・モーターサイクリング」の市民周知と支援体制および今後における類似イベントに対する支援の見解は。

答 北海道クラシックカーミーティングについては、赤平市で20回開催され、2011年から本市で開催されている。また、北海道ミーティングについては、今年で30回を迎える。市としては、公益性・地域の活性化の観点から実行委員会の要請に応じ広報等による市民周知・施設の使用・物品の貸出など支援を行ってきた。今後も同様に実行委員会からの要請に応じ内容を精査しながら支援したい。

いじめ防止対策

問 小中学校におけるいじめ防止対策および実態把握と対応は。

答 「いじめは、いつでも、どこにでも起こる」という強い危機意識と根絶に向け各関係機関一体となつて取り組んでいる。

防止対策の活動状況は、西中学校「いじめZERO運動」をはじめ全校で取り組みが行われている。実態把握は、年2回いじめアンケートを実施。現在までのところ、いじめは確認されていない。また、不登校傾向にある児童生徒の実態把握は、毎月、児童生徒実態調査を行い、詳細に報告を受け、「適応指導教室マイクラス」を設置し、事案に即した学習指導・支援活動に取り組んでいる。更に諸問題の解決に向け「子どもと親の相談員」等配置し相談業務を行っている。



西中学校 ZERO 運動

萩原 弘之

(民主クラブ)

担い手実態調査の取り組みは

富良野市
担い手実態調査
報告書

担い手実態調査

問 23年度担い手実態調査の結果に対する課題と取り組みは。

答 本調査は、後継者の確保と現状や農家子弟の就農見込み・将来の営農状況・雇用労働の現状と課題・作業受委託の現状と課題・法人化、経営継承に対する関心などについて、現在の状況を把握して26年度より新たな農業計画の策定に向けた準備として結果を十分考慮に入れながら今後の富良野農業が活性化する仕組みづくりにつなげる。

町内会組織の課題と対策は

問 町内会未加入者に対する市の対応策とコミュニティ推進委員の協力体制は。

答 現在町内会加入率は85%となつているが、福祉施設や共同生活施設などは1世帯のカウントになつているため、正確ではない。原因として少子高齢化や核家族化の進行・人間関係の希薄化・町内会活動への無関心などが考えられる。市では、「ふらのコミュニティレポート」を広報ふらのに連載をしている。また転入の際には町内会加入の必要性や取り組みについて加入促進している。今後コミュニティ推進委員を通じて町内会の実態と意識の調査を実施して加入促進策を検討する。

問 公園などの環境整備事業を町内会に委託しては。

答 公共的な場所については常に実施していただいている。公園等の管理については、作業機械等の危険が伴うため難しい。

「その他の質問」

◇ゴミステーション設置に対する考え方など